

6 3 3 号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会  
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会  
富山県西部家畜保健衛生所 2022. 2. 10

令和3年度富山県畜産関係業績・ 成果発表会が開催されました	1
高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策の徹底を！	2
国連食糧農業機関(FAO)から春節シーズンの アフリカ豚熱拡大リスクに関するアラート発出	3
豚熱発生事例から学ぶ衛生対策	3

令和3年度富山県畜産関係業績・ 成果発表会の概要	4
国際的なコンテナ輸送の需給ひっ迫により 粗飼料の輸入遅延が発生	4
検査室レポート	5
防疫情報	6
お知らせ	6

## 令和3年度富山県畜産関係業績・成果発表会が開催されました



オンラインで開催された発表会

2月4日、富山県農協会館にて、令和3年度富山県畜産関係業績・成果発表会が開催されました。全国的な新型コロナウイルス感染拡大を受け、今回は急遽、会場への入室は発表者、本県助言者及び事務局に限定し、その他の関係者はオンラインでの視聴による参加となりました。この発表会は、事業推進、調査研究等における業績・成果について発表・討議を行い、本県の畜産経営の改善向上に資することを目的として毎年開催されているもので、家畜保健衛生所、農業技術課広域普及指導センター及び農林水産総合技術センター畜産研究所が一堂に会して行われます。今年度は国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門から疾病対策部生物学的製剤製造室長の高木道浩先生を助言者としてリモートでお招きし、計14題の発表について活発に討議されました（詳細は4ページ）。

(東部家保環境課 稲畑課長)

# 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策の徹底を！

今シーズンは、国内において、家きんで9県15事例、野鳥等では4道県12事例の高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています（令和3年10月1日～令和4年1月31日現在）。1月は野鳥等にういて、北海道から九州まで8か所で発生事例が確認され、環境中で本病ウイルスが検出される状態が続いていることから、引き続き、飼養衛生管理基準（以下「管理基準」）の遵守を始めとした防疫対策の徹底が重要となっています。

各農場における飼養衛生管理の実施状況について一番よく把握しているのは日頃から鶏の管理を行っている農場の皆さんです。2月は定期報告で管理基準の遵守状況を自己点検する時期でもありますので、この機会に自農場での衛生管理方法を今一度確認・改善し、農場の防疫レベルを高めましょう。

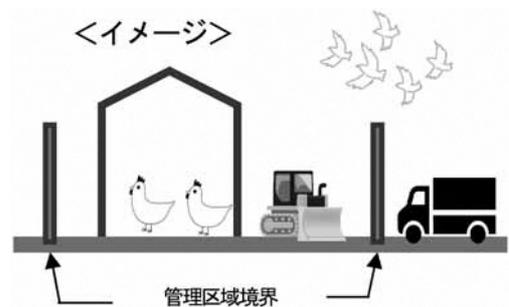
管理基準では、衛生管理区域（以下「管理区域」）内及び鶏舎内のそれぞれにおいて専用靴の着用が義務付けられていますが、今シーズンの発生農場における国の疫学調査では、一部で鶏舎専用靴を使用していない農場が確認される等、残念ながら全ての農場で十分な対策が実施されているわけではありません。以下のQ&Aで、専用靴着用の必要性をはじめ、本病の防疫対策について説明しますので、理解を深めていただけると幸いです。

## Q1 管理区域専用靴、鶏舎専用靴の着用はなぜ必要？長靴の踏込消毒では不十分？

A1 長靴表面に付着した病原体を踏込消毒槽で消毒する際には、3分以上漬けこんでおく必要があるといわれています。踏込消毒槽に少なくとも180秒もの間、じーっと立っていることが果たして現実的でしょうか。また、作用時間以外にも消毒効果に影響を与える要因はいくつもあり（例えば、有機物の残存、消毒薬の使用濃度・温度・量等）、管理区域や鶏舎に出入りする度に毎回確実に効果的な消毒をするには、かなりの手間や労力がかかります。こういった理由から管理区域専用靴、鶏舎専用靴の着用が求められます。

## Q2 管理区域の出入り口で専用靴に履き替えて、鶏舎への出入り口でも履き替えるのはどうして？

A2 管理基準の考え方では、まずは管理区域の出入り口やその境界部分で衛生管理対策を講じることにより、極力病原体の侵入リスクを低下させます。しかし、対策を十分に講じている場合でも人、車両、野生動物等に付着した病原体について、管理区域への侵入を完全に防ぐことは難しく、区域内を完全に外部と遮断することもできません。そのため、専用長靴の履き替えや手指の消毒といった家きん舎出入時の対策によって、もう一段の防疫障壁を設ける必要があります。



## Q3 こんなに鳥インフルエンザが流行っているのに、なぜワクチンを使えないの？

A3 ワクチンは効果の面から以下の2種類に分けられます。

病原体の感染自体を防止し、高い効果を示すもの

（例：ニューカッスル病、豚熱等の一部の生ワクチン）

病原体の感染は防止できないが、病原体の増殖を抑え、感染後の発症・死亡を抑制するもの（例：鳥インフルエンザワクチン、口蹄疫ワクチン等の不活化ワクチン）

鳥インフルエンザワクチンは Ⅰ型のタイプに属し、ワクチンを打ってしまうと万一飼養鳥がワクチン株以外の野外株に感染した際にも症状が抑えられてしまうため、感染したことを発見しにくくなります。その結果、現在行われているように早期に封じ込め対策を取ることも困難となり、他へのまん延リスクも高くなります。さらに感染鳥が死なずにウイルスを排せつし、新たな鳥への感染が繰り返される過程でウイルスが変異し、ワクチンの効かないウイルスが出現することが懸念されます。

こういった考えから現在日本を含め多くの国では、鳥インフルエンザのワクチンを使用することはできません。

（出典：（公社）中央畜産会「畜産分野の消毒ハンドブック」等）  
（東部家保防疫課 笹原主任）

## 国連食糧農業機関(FAO)から 春節シーズンのアフリカ豚熱拡大リスクに関するアラート発出

春節（今年は2月1日）にかけて、人、肉製品、動物の移動が増加し、アフリカ豚熱の拡大リスクが増大するとして、FAOがアラートを発出しました。

アフリカ豚熱は、かつてはサハラ砂漠以南のアフリカ諸国及びイタリアのサルジニア島でのみ限局発生が見られる風土病でした。しかし、2007年にアフリカを出港した外航船の厨房から出る生ごみにより、ジョージアへ侵入、以後、ユーラシア大陸の国々で次々発生が確認されています。更に、2021年には中南米のドミニカ共和国、ハイチで新たな発生が認められています。

アジアでは、2018年8月、中国において初めて発生し、2019年4月までにはすべての直轄市、省、自治区で発生が確認されました。その後、アジア諸国で感染拡大が続き、16か国・地域で発生が認められています。現在、東アジアで本病が発生していないのは、日本と台湾のみです。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い多くの地域で渡航制限等が継続されていますが、春節には、国内移動を含め数百万人が旅行すると予想されています。

アフリカ豚熱の感染拡大において、人的な要因は主要かつ重要とされており、汚染された肉製品や衣服、感染動物との接触等を介して感染する可能性があり十分注意が必要です。これまで、我が国に違法に持ち込まれた畜産物4件から既にアフリカ豚熱ウイルスが分離されています。

技能実習生等の外国人を受け入れている畜産農家では、母国を含めた海外から肉製品が郵送されることのないよう改めて注意喚起をお願いします。また、従業員の方が受け取っている国際郵便物等の中に違法な肉製品が含まれている疑いがある場合、直ちに家畜保健衛生所へ連絡するようお願いいたします。養豚農家では、3カ月ごとに「飼養衛生管理基準重点管理項目」の自己点検を実施しており、2月が点検実施・報告月となります。改めて、自己点検により遵守状況を確認いただき、豚熱やアフリカ豚熱の侵入防止に万全を期してください。  
(東部家保防疫課 水木係長)

## 豚熱発生事例から学ぶ衛生対策

先月号では国内76例目となる宮城県での豚熱発生をお伝えしましたが、令和2年9月以降に発生した18事例は、全てワクチン接種地域での発生となっています。本病ワクチンは接種により十分な免疫を獲得した場合、感染防御を示します。しかし、これまでの発生事例の疫学調査や県内の豚熱抗体検査結果では、どの農場でも一定程度、十分な免疫が獲得できていない豚が存在しています。令和3年度下期(R3.11~R4.1)に実施した豚熱免疫付与状況確認検査の抗体陽性率は県内農場平均で87.0%、用途別では繁殖豚で93.0%、肥育豚で84.7%でした。このことから、本病の発生防止にはワクチン接種に加えて、侵入防止対策の徹底が必須です。

2月2日、豚熱ワクチン接種農場における豚熱発生時に疫学調査チームが撮影した写真が、新たに農林水産省ホームページ上で公開されました(掲載ページ:農林水産省 消費・安全局「国内における豚熱の発生状況について:疫学調査の概要」下記QRコード参照)。本ページには、これまでの発生事例の疫学調査結果や不備が認められた箇所の写真等も掲載されています。発生農場の状況を確認して、自農場の衛生措置の点検や改善に活用し、発生予防対策の強化につなげてください。



豚舎壁面の破損部



ユニットタイプの飼育箱。天井はあるが、周囲に壁面、ネットは未設置



農水省:疫学調査の概要

(出典:農林水産省ホームページ)  
(東部家保防疫課 水木係長)

# 令和3年度富山県畜産関係業績・成果発表会の概要

令和3年度富山県畜産関係業績・成果発表会の演題名は以下のとおりです。(関連ページは1ページ)

家畜保健衛生所(○:第63回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会選出演題)

	演題名	家保	発表者
1	高病原性鳥インフルエンザ発生事例の検証に基づく飼養衛生管理指導	西部	小林 歩
2	県内発生対応を踏まえた高病原性鳥インフルエンザ防疫体制強化の取り組み	東部	水木 亮史
○3	養豚場汚水処理施設における水質検査体制の再構築と改善指導	東部	米澤 史浩
○4	管内公共牧場における牛伝染性リンパ腫検査体制の整備	東部	中村 吉史宏
5	安定的な和子牛確保に向けた技術支援	西部	田知 慶久
6	黒毛和種繁殖農場における採卵牛の繁殖成績調査	東部	竹内 俊彦
7	県内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザの病理学的検索	東部	石原 未希
○8	採卵鶏農場で散発したロイコチトゾーン症	西部	木全 綾
9	管内黒毛和種農場における牛ウイルス性下痢ウイルス持続感染牛の摘発とその対応	東部	藤井 晃太郎
10	管内酪農家で発生した地方病性牛伝染性リンパ腫の一例	西部	渡辺 健太

農業技術課広域普及指導センター

1	酪農における自立安定経営の確立 ～基本の観察に基づく飼料調整で収益性向上～		齋藤 健朗
---	--	--	-------

農林水産総合技術センター畜産研究所

1	ウイスキー粕サイレージの調整法の検討と搾乳牛への嗜好性調査		竹元 正士
2	肉用牛ゲノミック評価の効果と発育や繁殖性との関係について		四ッ島 賢二
3	快適性に配慮した子豚の飼養管理の検討(去勢・歯切り)		坪川 正

家畜保健衛生所の発表のうち、第63回東海・北陸ブロック家畜衛生業績発表会に選出された3題の概要は以下のとおりです。

<演題番号3> 養豚場の汚水処理施設の水質検査の実施により、水質改善のための技術指導を行い農場主の意識向上を図った。併せて、処理施設の全体像や終末排水の排水経路等をまとめた「水質検査作業手順書」を策定し、各農場の汚水処理施設に合った的確な指導ができるよう体制を整備した。

<演題番号4> 公共牧場の牛伝染性リンパ腫検査体制について、平成26年から現在までその段階を3期に分け、検査手法、採材場所及び入牧日程調整方法に改善を重ねた結果、材料採取から入牧までの日数が短縮された。また、毎年全頭検査実施は、検査の性質上、入牧検査をすり抜けた陽性牛を早期に対策できるなど、公共牧場内の牛伝染性リンパ腫の清浄性を維持することに寄与した。

<演題番号8> 管内3採卵鶏農場において、下痢や貧血などの症状を呈する鶏の病性鑑定を行ったところ、組織中にロイコチトゾーンのシズント並びに血液塗抹検査では赤血球にメロゾイトが確認された。このうち1農場では、誘導換羽が発症の引き金となった可能性や、オールアウトを実施していなかったため数年前の感染鶏が今回の感染源となった可能性が示唆された。

(東部家保環境課 稲畑課長)

## 国際的なコンテナ輸送の需給ひっ迫により粗飼料の輸入遅延が発生

最近の粗飼料の輸入を巡っては、令和2年後半以降の中国から米国向けのコンテナ輸送の急拡大や乾牧草の主要輸出港である北米西海岸港湾における貨物の滞留等を背景として輸入遅延等が発生しました。特に米国からの輸入量が昨年夏以降減少したため、カナダや豪州からの輸入で代替することにより、令和3年の年間粗飼料輸入量は前年並みとなったものの、不安定な供給状況が生じています。

世界的なコンテナ物流の状況等を踏まえると、当面は粗飼料の輸入遅延の改善が見込めず、需給もひっ迫基調で推移する可能性があるため、1月21日、農林水産省畜産局から粗飼料の安定的な確保のために留意すべき事項についてとりまとめた通知が発出されました。内容の詳細については右記QRコードを読み込み、飼養管理の参考にしてください。

(東部家保環境課 稲畑課長)



# 検査室レポート

【検査実施状況】

(令和3年7月26日～令和4年1月25日現在)

区分	畜種	診断名・検査名	件数	頭羽数	検体数
病性鑑定	乳用牛	牛コクシジウム病	6	6	7
		伝染性角結膜炎	1	4	4
		牛マンヘミア症	1	1	2
		牛伝染性リンパ腫	1	1	1
		細菌性乳房炎もしくは藻類による乳房炎	72	221	493
		その他	176	326	57
	肉用牛	牛パストツレラ症	3	3	3
		牛コロナウイルス病と牛パストツレラ症	2	4	7
		牛ロタウイルス病	2	4	4
		牛コロナウイルス病	2	2	3
		牛コロナウイルス病と牛ロタウイルス病	1	2	2
		牛パストツレラ症とヒストフィルス・ソムニ感染症	1	1	1
		牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症とヒストフィルス・ソムニ感染症	1	1	1
		牛トロウイルス病	1	1	1
		牛マンヘミア症	1	1	1
		牛コクシジウム病	1	1	1
		ビタミンA欠乏症	1	1	1
		好酸球性腸炎	1	1	1
		その他	77	86	94
		豚	豚大腸菌症	1	5
	豚胸膜肺炎		1	1	1
	その他		3	5	5
	鶏	ロイコチトゾーン症	4	31	31
鶏の豚丹毒菌感染症		2	9	9	
鶏痘		1	5	5	
その他		13	35	62	
緬・山羊	捻転胃虫症	2	2	2	
	槍型吸虫症	1	1	2	
	山羊のコクシジウム病	1	1	1	
	細菌性乳房炎	3	17	34	
	その他	13	16	18	
馬・その他	ペンギンのクロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1	1	
	その他	4	4	4	
一般検査	牛・豚・鶏・山羊		263	2,196	3,131
鳥インフルエンザ検査	鶏	ウイルス分離・抗体検査	36	360	720
BSE検査	牛	エライザ検査	25	25	25
TSE検査	緬・山羊	ウェスタンブロットまたは免疫組織学的検査 (農研機構 動物衛生研究部門に依頼)	7	7	7
豚熱検査	野生いのしし	PCR検査	24	210	210
合計			755	3,597	5,471

## 【トピックス】 牛の好酸球性腸炎

好酸球性腸炎は間欠性または慢性の下痢、食欲不振、体重減少を示す疾患で、動物では犬や猫、馬での報告はありますが、牛では稀な疾患です。牛ではこれらの症状により発育不良を招くことから、予後不良となる場合があります。原因は不明ですが、寄生虫や食餌による型アレルギーの関与が疑われています。血液検査で白血球のうち好酸球の数値が上昇していること、解剖時の腸管の肥厚や病理組織検査での好酸球浸潤を伴う腸壁の肥厚をもって診断します。これまで国内では肉用育成牛での発生が数例報告されていますが、慢性下痢を主徴とすることから、牛ウイルス性下痢やヨーネ病との鑑別診断も重要です。本病に限らず、慢性下痢・発育不良を呈する場合は何らかの疾患が関与している可能性もありますので、家畜保健衛生所にご相談ください。

(東部家保検査課 石原主任)

# 防 疫 情 報

## 全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ（法定伝染病）（関連記事は2ページ）

（2月1日現在）

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
11	1月4日	愛媛県西条市	採卵鶏	約8.3万羽	H5N1
12	1月4日	愛媛県西条市	採卵鶏	約14.2万羽	H5N1
	関連農場	愛媛県今治市	採卵鶏	約6,000羽	—
13	1月13日	鹿児島県長島町	肉用鶏	約5.4万羽	H5N1
	関連農場	鹿児島県長島町	肉用鶏	約5.7万羽	—
14	1月19日	千葉県八街市	肉用鶏	約6.6万羽	H5N1
15	1月26日	千葉県匝瑳市	あひる	約1,700羽	H5N1
	関連農場	千葉県匝瑳市	あひる	約1,200羽	—
	関連農場	茨城県かすみがうら市	あひる	約1,100羽	—
	関連農場	埼玉県春日部市	あひる	約1,400羽	—
	関連農場	埼玉県熊谷市	あひる	約400羽	—

## 県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病 名	畜 種	発生日	戸 数	頭羽数	備 考
豚丹毒（届出伝染病）	豚	12月24日	1	1	と畜場発見
		1月6日	2	4	と畜場発見
		1月20日	1	1	と畜場発見
牛パストツレラ症	牛	12月25日	1	1	
牛マンヘミア症	牛	12月30日	1	1	
コクシジウム病	山羊	1月4日	1	1	
牛伝染性リンパ腫（届出伝染病）	牛	1月18日	1	1	と畜場発見
牛コクシジウム病	牛	1月24日	1	1	
伝染性角結膜炎	牛	1月24日	1	4	

## 国内の野鳥等からの高病原性及び低病原性鳥インフルエンザウイルスの検出

（2月1日現在）

事 例	検体回収場所	検体回収日	種 名	病原性	亜 型
9	鳥取県鳥取市	12月1日	環境試料（水）	HPAI	H5N8
10	鳥取県鳥取市	12月1日	糞便	LPAI	H7N7
11	鹿児島県出水市	12月10日	オナガガモ	ウイルス分離陰性	—
12	鹿児島県出水市	12月6日	環境試料（水）	HPAI	H5N8
13	福井県若狭町・美浜町	11月25日	野鳥糞便	LPAI	H7N7
14	石川県内灘町	12月3日	野鳥糞便	LPAI	H5N3
15	鹿児島県出水市	12月20日	環境試料（水）	HPAI	H5N1
16	北海道苫前町	1月2日	オジロワシ	HPAI	H5
17	鹿児島県出水市	1月10日	環境試料（水）	HPAI	H5N8
18	北海道根室市	1月20日	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
19	北海道根室市	1月23日	ハシブトガラス	HPAI	H5N1
20	北海道雄武町	1月23日	オジロワシ	HPAI	H5
21	鳥取県米子市	1月18日	野鳥糞便	LPAI	H7
22	北海道根室市	1月28日	ハシブトガラス	遺伝子検査中	
23	京都府京都市	1月27日	ノスリ	遺伝子検査中	

HPAI:高病原性鳥インフルエンザ、LPAI:低病原性鳥インフルエンザ

## ☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	2月24日	北陸三県家畜市場（金沢市）

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6

電話(076)479-1106 FAX (076)479-1140

[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1687/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/index.html)

編集者 稲畑 裕子（富山県東部家畜保健衛生所）

